

死亡災害が多発しています！！



鹿嶋労働基準監督署

当署管内における平成24年の死亡災害は、3月に発生して以来、毎月のように死亡災害が発生し、死亡者数は13人となり、前年の死亡者数4人を大幅に超えて増加し、大変憂慮すべき状況になっています。また、死亡災害の内、重大災害が3件発生しています。

重大災害とは、1つの災害で3名以上の労働者が被災した場合の災害をいう。(不休災害を含む)

平成24年死亡災害事例

番号	業種等	発生月	事故の型	発生状況
1	化学工業 (発生場所 鹿嶋市内)	3月	火災 (2名死亡) 《重大災害》	製品倉庫内で振動ふるい機を使用して、粉状の有機化合物を小分けし袋に詰める作業を行っていたところ、振動ふるい機付近から出火し作業員2名が死亡して、作業員1名が右手甲などに火傷(不休災害)を負った。
2	廃棄物処理業 (発生場所 神栖市内)	4月	墜落・転落	フォークリフトのフォークに載せた軽トラック荷台上(パレットの代わりに使用)の古タイヤをトラックに積み替えていたところ、軽トラック荷台が転倒し、荷台の上にあった被災者は荷台とともに地面に墜落した。
3	土木工事業 (発生場所 潮来市内)	5月	激突され	災害復旧の下水道工事において、掘削した溝を埋め戻すためバックホーを前進させたとき、地面が陥没しバックホーが前のめりになった。その際、バックホーの前方にいた作業員の背中にパケットが接触した。
4	その他の建設業 (発生場所 滋賀県内)	6月	交通事故 《重大災害》	鹿嶋市内の建設工事現場で作業が終了し、福岡県北九州市の会社へ戻るため、7名でワゴン車に乗り名神高速道路を走行中、左後輪のタイヤがパンクして中央分離帯に激突し横転した。1名が死亡し6名が重軽傷を負った。
5	金属製品製造業 (発生場所 行方市内)	6月	崩壊・倒壊	出張作業から会社へ戻り、翌週の作業の準備を行った。作業の準備が終わり、被災者は製品置き場に積み上げられた金属製ラックに上ったところ、ラックが崩れて下敷きになった。

番号	業種等	発生日	事故の型	発生状況
6	土木工事業 (発生場所 鹿嶋市内)	6月	崩壊・倒壊 (2名死亡) 《重大災害》	岸壁の建設工事において、海側(鹿島港)に面して鉄筋コンクリート製の壁を作る作業を行っていた。作業場所は、鋼管杭にブラケットを取り付け、その上に作業床、手すりが設置されていた。高さ約4m、長さ約30mのかご状の鉄筋の組み立てを行っていたところ、鉄筋が海側に向かって倒れ、海側で作業していた下請け作業員3名が海水深約14m)に投げ出され、1名は自力で岸に泳ぎ着いたが、2名は水死した。被災者らは救命胴衣を着用していた。
7	土木工事業 (発生場所 行方市内)	7月	墜落・転落	4月5日、個人所有の畑にU字溝を設置するため、U字溝の上(高さ90cm)に載って、エンジン付きハンドカッターでU字溝を切断していたところ、切断箇所が離れて墜落し、U字溝の一部に背中を打ち負傷した。病院で治療を受けていたが7月に死亡した。
8	木造家屋建築 工事業 (発生場所 潮来市内)	7月	墜落・転落	震災により損傷した住宅屋根の改修工事において、被災者は水が入ったバケツを持って、はしごから屋根に昇ったところ屋根上で転倒し、屋根の端から約3.8m下の地面に墜落した。
9	道路貨物運送 業 (発生場所 神栖市内)	9月	墜落・転落	工場内において、トラック(8トン車)に木材を積み込み、荷台上でスリングベルトで木材を固定する荷締め作業を行っていたところ、トラックの荷台から地面に墜落した。
10	その他の事業 (発生場所 千葉県松戸市 内)	12月	墜落・転落	千葉県松戸市内の個人宅において、植木の選定作業を行っていた。被災者は、ケヤキの木に登り枝打ちを行っていたところ、高さ約8mの木の上から墜落した。被災者は安全帯を使用しなかった。
11	その他の運輸 交通業 (発生場所 神栖市内)	12月	交通事故	被災者2名は運転代行業の労働者であり、客を送り届けて、次の客先の場所へ向かう途中、国道124号線の交差点において、直進しようとしたところ、右折してきた乗用車と衝突し、同乗者が全身打撲で死亡し、運転者は負傷した。(休業災害)

死亡災害事例 (参考)

番号	業種等	発生日	事故の型	発生状況
1	土木工事業 (発生場所 潮来市内)	10月	崩壊・倒壊	水道管の災害復旧工事を行っていた。幅0.7m、掘削深さ1.3mの溝内へ入って2名で水道管の接続作業を行っていたところ、土砂崩壊により、会社役員が生き埋めになって死亡し、もう一人は体の一部が埋まって負傷した。(休業災害)